



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月2日

上場会社名 GMB（株） 上場取引所 大
 コード番号 7214 URL <http://www.gmb.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役会長 （氏名）松岡 信夫
 問合せ先責任者 （役職名）取締役副社長 （氏名）阪口 有一 （TEL） 0745-44-1911
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
23年3月期第1四半期	10,435	112.9	827	—	544	—	343	—
22年3月期第1四半期	4,901	△49.6	△147	—	△1	—	2	△99.5

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	65	99	—	—
22年3月期第1四半期	0	44	—	—

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	％	円	銭	
23年3月期第1四半期	39,527	17,861	17,861	17,861	37.6	2,848	69	
22年3月期	37,086	17,159	17,159	17,159	38.7	2,752	27	

（参考）自己資本 23年3月期第1四半期 14,846百万円 22年3月期 14,343百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	15	00	—	—
23年3月期	—	—	—	—	—	—
23年3月期（予想）	—	—	15	00	—	—

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円	銭
第2四半期（累計）	19,000	61.9	1,000	—	870	—	400	—	76	75
通期	39,000	33.3	1,800	212.4	1,550	357.6	750	898.4	143	91

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動：無

新規 ー 社（社名）、除外 ー 社（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

23年3月期1Q	5,212,440株	22年3月期	5,212,440株
23年3月期1Q	783株	22年3月期	783株
23年3月期1Q	5,211,657株	22年3月期1Q	5,211,707株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、[添付資料] P. 3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
平成23年3月期 第1四半期決算短信 補足説明資料	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における経済状況は、新興国経済や改善する企業収益などにより、緩やかな回復基調へ改善しつつも、金融市場動向や欧州経済など不安要素を抱えた状況が続いております。また、自動車業界においても、新興国需要の拡大や先進国での需要回復により改善していますが、一方では各国の需要刺激策の反動も懸念されております。

このような環境の中、当社グループは、引き続き新車用部品・補修用部品の両市場において販売強化に努め、特に韓国新車用部品市場における需要の拡大に対応して生産体制を増強していきました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の業績は、売上高が10,435百万円（前年同四半期比112.9%増）となり、営業利益は827百万円（前年同四半期営業損失147百万円）、経常利益は544百万円（同経常損失1百万円）、四半期純利益は343百万円（同四半期純利益2百万円）となりました。

主要な品目分類別の販売状況を説明しますと、次のとおりであります。

駆動・伝達及び操縦装置部品部門は、欧州向けユニバーサルジョイントや韓国新車用部品市場におけるバルブスプールの販売が増加したことなどにより、売上高は4,739百万円（前年同四半期比140.9%増）となりました。

エンジン部品部門は、補修用部品市場におけるウォーターポンプの販売増加などにより、売上高は3,047百万円（同117.4%増）となりました。

ベアリングその他部門は、韓国子会社が生産するテンショナー・アイドラ・ベアリングの新車用・補修用部品両市場での販売が増加したことなどにより、売上高は2,648百万円（同72.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

当社は、製造、販売体制を基礎とした拠点の所在地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「韓国」、「中国」及び「タイ」の5つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、自動車部品を製造、販売しております。

①日本

海外補修用部品市場における販売や欧州向けの新車用部品の輸出が回復したことなどの結果、売上高3,067百万円、セグメント利益161百万円となりました。

②米国

連結子会社のGMB NORTH AMERICA INC.において補修用ウォーターポンプの販売が増加したことなどの結果、売上高1,313百万円、セグメント利益44百万円となりました。

③韓国

連結子会社のGMB KOREA CORP.において韓国自動車メーカーや系列部品メーカー向けの販売が増加したことなどの結果、売上高5,897百万円、セグメント利益478百万円となりました。

④中国

連結子会社2社の製造拠点において生産量の改善や生産性向上に努めるなどした結果、売上高213百万円、セグメント利益120百万円となりました。

⑤タイ

中国同様、製造拠点において生産量の改善や生産性向上に努めるなどした結果、売上高56百万円、セグメント利益84百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益が540百万円（前年同四半期比1,981.9%増）、短期・長期借入金による資金調達が211百万円増加（前年同四半期は446百万円の減少）するなど収入が増加しましたが、売上債権の増加額が924百万円（同314百万円の減少額）、たな卸資産の増加額が228百万円（同113百万円の減少額）、有形固定資産の取得による支出が647百万円（前年同四半期比101.2%増）などの結果、期末残高は509百万円減少して2,485百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は330百万円（前年同四半期比17.0%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が540百万円（同1,981.9%増）、減価償却費が521百万円（同14.1%増）となった一方で、売上債権の増加額が924百万円（前年同四半期は314百万円の減少額）、たな卸資産の増加額が228百万円（同113百万円の減少額）となったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は782百万円（前年同四半期比7.3%増）となりました。これは主に、設備投資による有形固定資産の取得による支出が647百万円（同101.2%増）、貸付による支出が250百万円減少したことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は48百万円（前年同四半期は343百万円の使用）となりました。これは主に、短期・長期借入金による資金調達が211百万円増加（前年同四半期は446百万円の減少）したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績は概ね計画どおり推移しており、前回決算発表時（平成22年5月13日）に公表しました業績予想は、第2四半期連結累計期間、通期とも変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

①税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計処理基準に関する事項の変更)

①「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。

これによる当第1四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

②資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる当第1四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

③企業結合に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,807,233	4,102,621
受取手形及び売掛金	6,833,699	5,742,440
商品及び製品	3,122,904	3,091,880
仕掛品	3,496,260	3,223,838
原材料及び貯蔵品	1,641,614	1,516,163
未取還付法人税等	8,538	2,555
繰延税金資産	227,558	196,355
その他	826,019	732,391
貸倒引当金	△75,104	△62,822
流動資産合計	19,888,724	18,545,424
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,888,117	3,579,213
機械装置及び運搬具（純額）	7,615,981	7,084,014
土地	5,480,574	5,404,063
建設仮勘定	724,044	621,515
その他（純額）	334,804	309,603
有形固定資産合計	18,043,521	16,998,411
無形固定資産		
のれん	20,596	27,462
その他	213,462	217,292
無形固定資産合計	234,059	244,755
投資その他の資産		
投資有価証券	740,644	711,239
繰延税金資産	328,717	319,090
その他	324,903	305,545
貸倒引当金	△33,563	△38,020
投資その他の資産合計	1,360,702	1,297,854
固定資産合計	19,638,283	18,541,020
資産合計	39,527,008	37,086,445

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,743,528	5,203,332
短期借入金	5,180,683	4,511,660
1年内返済予定の長期借入金	2,130,378	2,384,930
未払法人税等	72,708	41,084
繰延税金負債	197,712	163,481
賞与引当金	58,411	140,678
製品保証引当金	171,323	171,576
関係会社整理損失引当金	96,322	75,967
その他	2,739,605	1,898,383
流動負債合計	16,390,673	14,591,095
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	2,284,290	2,396,711
繰延税金負債	41,901	40,963
退職給付引当金	1,541,726	1,470,106
役員退職慰労引当金	247,900	242,400
訴訟損失引当金	85,382	81,746
負ののれん	89,052	96,473
その他	484,992	507,900
固定負債合計	5,275,246	5,336,301
負債合計	21,665,920	19,927,397
純資産の部		
株主資本		
資本金	838,598	838,598
資本剰余金	988,000	988,000
利益剰余金	14,235,795	13,970,044
自己株式	△1,694	△1,694
株主資本合計	16,060,699	15,794,948
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△14,013	546
為替換算調整勘定	△1,200,316	△1,451,594
評価・換算差額等合計	△1,214,330	△1,451,048
少数株主持分	3,014,718	2,815,146
純資産合計	17,861,087	17,159,047
負債純資産合計	39,527,008	37,086,445

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	4,901,688	10,435,607
売上原価	4,185,213	8,361,560
売上総利益	716,475	2,074,047
販売費及び一般管理費	863,481	1,246,510
営業利益又は営業損失(△)	△147,006	827,536
営業外収益		
受取利息	3,796	3,272
為替差益	161,182	—
受取保険金	11,137	—
負ののれん償却額	14,024	7,421
その他	22,892	15,901
営業外収益合計	213,034	26,595
営業外費用		
支払利息	54,477	77,787
手形売却損	10,365	47,589
為替差損	—	172,441
持分法による投資損失	—	6,337
その他	2,990	5,933
営業外費用合計	67,832	310,089
経常利益又は経常損失(△)	△1,804	544,043
特別利益		
固定資産売却益	1,672	1,756
持分変動利益	1,221	—
負ののれん発生益	—	4,874
製品保証引当金戻入額	27,642	10,622
特別利益合計	30,535	17,253
特別損失		
固定資産売却損	1,439	69
固定資産除却損	1,315	859
関係会社整理損失引当金繰入額	—	19,581
特別損失合計	2,755	20,510
税金等調整前四半期純利益	25,975	540,786
法人税等	△19,686	56,495
少数株主損益調整前四半期純利益	—	484,291
少数株主利益	43,372	140,366
四半期純利益	2,289	343,925

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	25,975	540,786
減価償却費	456,484	521,047
のれん償却額	6,865	6,865
負ののれん償却額	△14,024	△7,421
負ののれん発生益	—	△4,874
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,288	3,968
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△87,451	△82,267
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,892	15,195
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△43,915	△5,763
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,400	5,500
関係会社整理損失引当金の増減額 (△は減少)	—	20,355
訴訟損失引当金の増減額 (△は減少)	—	3,635
受取利息及び受取配当金	△4,422	△3,961
支払利息	54,477	77,787
為替差損益 (△は益)	△221,495	△20,384
有形固定資産除売却損益 (△は益)	1,082	△827
持分法による投資損益 (△は益)	—	6,337
売上債権の増減額 (△は増加)	314,982	△924,876
たな卸資産の増減額 (△は増加)	113,681	△228,216
仕入債務の増減額 (△は減少)	△33,959	344,356
その他	△96,600	171,041
小計	477,476	438,283
利息及び配当金の受取額	2,107	1,634
利息の支払額	△55,482	△78,503
法人税等の支払額	△26,570	△31,362
営業活動によるキャッシュ・フロー	397,531	330,051
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△87,467	△121,167
定期預金の払戻による収入	—	40,000
有形固定資産の取得による支出	△322,086	△647,938
有形固定資産の売却による収入	7,913	3,385
無形固定資産の取得による支出	—	△350
投資有価証券の取得による支出	△108,989	△41,937
投資有価証券の償還による収入	1,150	—
貸付けによる支出	△250,677	—
貸付金の回収による収入	3,382	382
その他	27,705	△14,479
投資活動によるキャッシュ・フロー	△729,068	△782,104

(単位：千円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4月 1日 至 平成21年 6月 30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4月 1日 至 平成22年 6月 30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,706,611	2,360,521
短期借入金の返済による支出	△2,187,339	△1,769,140
長期借入れによる収入	680,034	390,000
長期借入金の返済による支出	△646,106	△769,680
セール・アンド・リースバックによる収入	403,296	—
リース債務の返済による支出	△236,386	△34,298
配当金の支払額	△63,423	△75,106
少数株主への配当金の支払額	—	△53,487
財務活動によるキャッシュ・フロー	△343,314	48,808
現金及び現金同等物に係る換算差額	39,695	21,428
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△635,156	△381,816
現金及び現金同等物の期首残高	3,630,417	2,867,678
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,995,260	2,485,862

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

当社グループは自動車部品のメーカーとして、同一セグメントに属するウォーターポンプ及びユニバーサルジョイント等の製造、販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,856,622	631,409	2,413,655	4,901,688	—	4,901,688
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	794,878	2,268	1,069,470	1,866,617	(1,866,617)	—
計	2,651,501	633,678	3,483,125	6,768,305	(1,866,617)	4,901,688
営業利益 (または営業損失(△))	△101,339	△16,637	△43,629	△161,607	14,600	△147,006

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・韓国、中国、タイ

(2) 北米・・・アメリカ

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	2,692,565	817,667	660,092	4,170,325
II 連結売上高(千円)	—	—	—	4,901,688
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	54.9	16.7	13.5	85.1

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しています。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・韓国、中国、タイ等

(2) 北米・・・アメリカ、カナダ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、自動車部品を製造、販売しており、国内においては当社が、海外においては米国、韓国、中国、タイの現地法人が、それぞれ独立した経営単位として、取り扱う製品について包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、製造、販売体制を基礎とした拠点の所在地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「韓国」、「中国」及び「タイ」の5つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、自動車部品を製造、販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

(単位：千円)

	日本	米国	韓国	中国	タイ	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	3,067,266	1,313,622	5,897,216	213,125	56,844	10,548,075	△112,467	10,435,607
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,041,015	457	589,476	1,167,959	806,316	3,605,224	△3,605,224	-
計	4,108,281	1,314,079	6,486,693	1,381,084	863,161	14,153,300	△3,717,692	10,435,607
セグメント利益	161,914	44,057	478,682	120,265	84,519	889,438	△61,901	827,536

(注) 1. 外部顧客への売上高の調整額△112,467千円は、内部売上高で消去できなかった取引差額であります。また、セグメント利益の調整額△61,901千円は、セグメント間取引消去△23,913千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△37,988千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

平成23年3月期 第1四半期決算短信 補足説明資料

(1) 連結業績概要

(単位：百万円)

	平成22年3月期				平成23年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
売上高	4,901	6,831	7,886	9,633	10,435	—	—	—
営業利益 (同利益率)	△147 (△3.0%)	△99 (△1.4%)	330 (4.2%)	465 (4.8%)	827 (7.9%)	—	—	—
経常利益 (同利益率)	△1 (△0.0%)	△263 (△3.9%)	157 (2.0%)	418 (4.3%)	544 (5.2%)	—	—	—
税引前四半期純利益 (同利益率)	25 (0.5%)	△266 (△3.9%)	2 (0.0%)	484 (5.0%)	540 (5.2%)	—	—	—
四半期純利益 (同利益率)	2 (0.0%)	△94 (△1.4%)	△3 (△0.0%)	170 (1.8%)	343 (3.3%)	—	—	—

(2) キャッシュ・フロー関連

(単位：百万円)

	平成22年3月期				平成23年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
営業C F	397	317	401	1,452	330	—	—	—
投資C F	△729	△931	△666	△750	△782	—	—	—
財務C F	△343	390	184	△297	48	—	—	—
設備投資額	306	867	534	453	1,157	—	—	—
減価償却費	456	506	524	579	521	—	—	—

(3) 製品の品目分類別売上高

(単位：百万円)

	平成22年3月期				平成23年3月期			
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
駆動・伝達及び操縦装置部品	1,967	2,901	3,517	4,368	4,739	—	—	—
エンジン部品	1,402	1,628	2,079	2,965	3,047	—	—	—
ベアリングその他	1,531	2,302	2,289	2,299	2,648	—	—	—
計	4,901	6,831	7,886	9,633	10,435	—	—	—

(4) セグメント別売上高 (外部顧客に対する売上高)

(単位：百万円)

	平成22年3月期				平成23年3月期							
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q				
日本	1,856	2,182	2,618	2,986	/	/	/	/				
北米	631	705	922	1,017								
アジア	2,413	3,943	4,345	5,628								
消去または全社	—	—	—	—								
計	4,901	6,831	7,886	9,633								
日本	/								3,067	—	—	—
米国									1,313	—	—	—
韓国									5,897	—	—	—
中国									213	—	—	—
タイ									56	—	—	—
調整額					△112	—	—	—				
計					10,435	—	—	—				

(5) セグメント別営業利益

(単位：百万円)

	平成22年3月期				平成23年3月期							
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q				
日本	△101	△37	59	134	/	/	/	/				
北米	△16	△24	△6	△64								
アジア	△43	39	338	399								
消去または全社	14	△77	△61	△4								
計	△147	△99	330	465								
日本	/								161	—	—	—
米国									44	—	—	—
韓国									478	—	—	—
中国									120	—	—	—
タイ									84	—	—	—
調整額					△61	—	—	—				
計					827	—	—	—				